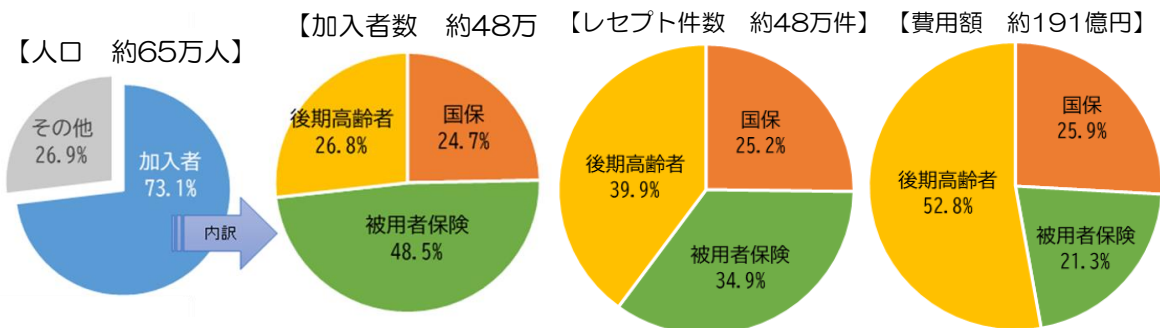


県内19市町村国民健康保険、島根県医師国保組合、全国健康保険協会島根支部、島根県市町村職員共済組合、後期高齢者医療広域連合の令和5年5月診療分レセプトデータを分析しました。

### 1. 加入者数、レセプト件数、費用額



### 2. 1人あたり費用額

制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	23,587	22,588	1,918	48,094
	女性	15,226	19,108	2,296	36,631
	計	19,300	20,804	2,112	42,216
被用者保険	男性	5,711	10,443	1,489	17,643
	女性	5,176	10,742	1,761	17,679
	計	5,444	10,592	1,625	17,661
後期高齢者	男性	49,878	38,733	2,402	91,013
	女性	40,278	29,635	2,039	71,952
	計	43,954	33,118	2,178	79,251
合計	男性	20,057	19,812	1,801	41,670
	女性	18,415	18,567	1,974	38,956
	計	19,180	19,146	1,893	40,219

約48万人のデータを分析対象としました。これは島根県の人口の約73%を占めています。  
レセプト件数は約48万件、費用額の合計は約191億円でした。費用額のうち後期高齢者の占める割合が最も高く、加入者数に占める割合を大きく上回っています。  
1人あたり費用額は、男女別にみると男性が高く、診療区分別では入院が最も高いですが、入院外の費用額と大差ありません。

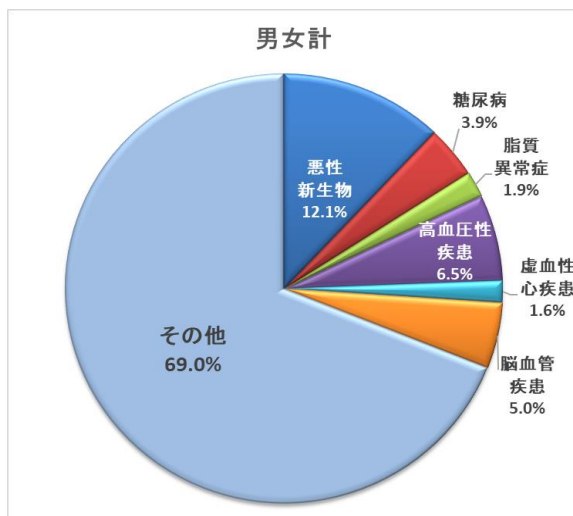
### 3. 疾病別医療費（中分類別1人あたり費用額上位10疾病）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
男女合計 (制度合計)	高血圧性疾患	他の心疾患	歯科	他の悪性新生物 <腫瘍>	骨折	腎不全	糖尿病	他の消化器系	脳梗塞	統合失調症, 妄想性障害
男性	他の悪性新生物 <腫瘍>	高血圧性疾患	腎不全	他の心疾患	糖尿病	歯科	他の消化器系	脳梗塞	他の呼吸器系	他の神経系
女性	高血圧性疾患	骨折	歯科	他の心疾患	糖尿病	他の悪性新生物 <腫瘍>	他の消化器系	関節症	腎不全	脳梗塞
国保	統合失調症, 妄想性障害	他の悪性新生物 <腫瘍>	腎不全	高血圧性疾患	歯科	糖尿病	他の心疾患	他の神経系	他の消化器系	脳梗塞
被用者保険	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	他の消化器系	糖尿病	他の神経系	他の心疾患	腎不全	良性新生物,他の 新生物<腫瘍>	脂質異常症
後期高齢者	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	他の悪性新生物 <腫瘍>	脳梗塞	腎不全	糖尿病	他の消化器系	他の呼吸器系	歯科

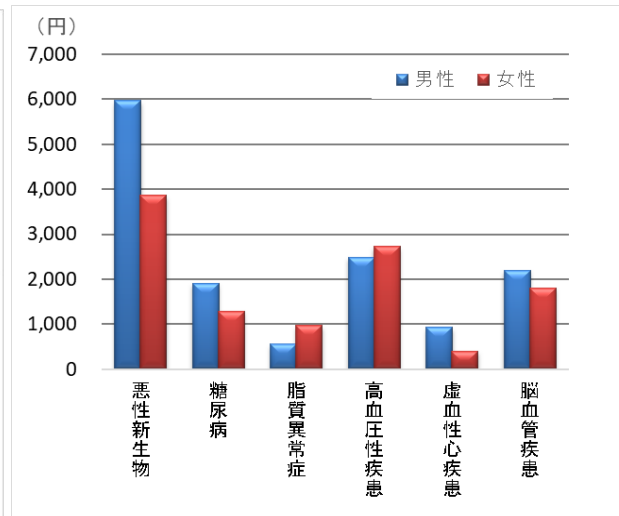
中分類による1人あたり費用額は、「高血圧性疾患」が最も高い状況です。男女別にみると、男性は「他の悪性新生物」、「高血圧性疾患」、「腎不全」、女性は「高血圧性疾患」、「骨折」、「歯科」が高い状況です。  
制度別にみると、国保は「統合失調症,妄想性障害」、被用者保険は「歯科」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が最も高い状況です。

## 4. 生活習慣病

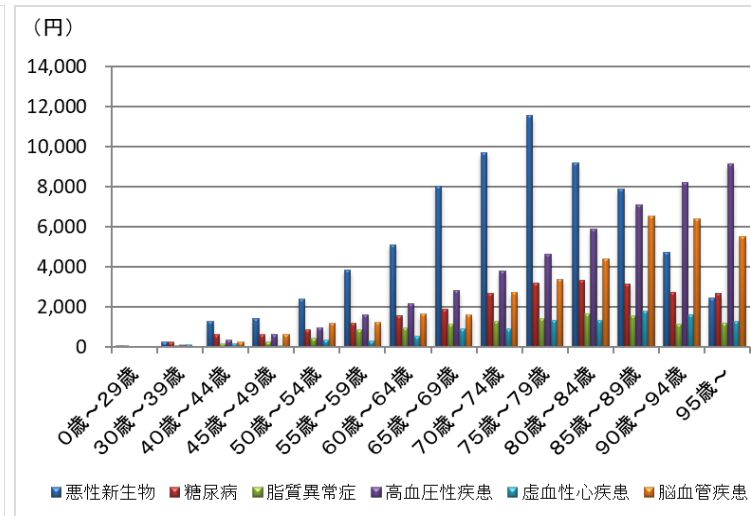
【費用額に占める生活習慣病の割合】



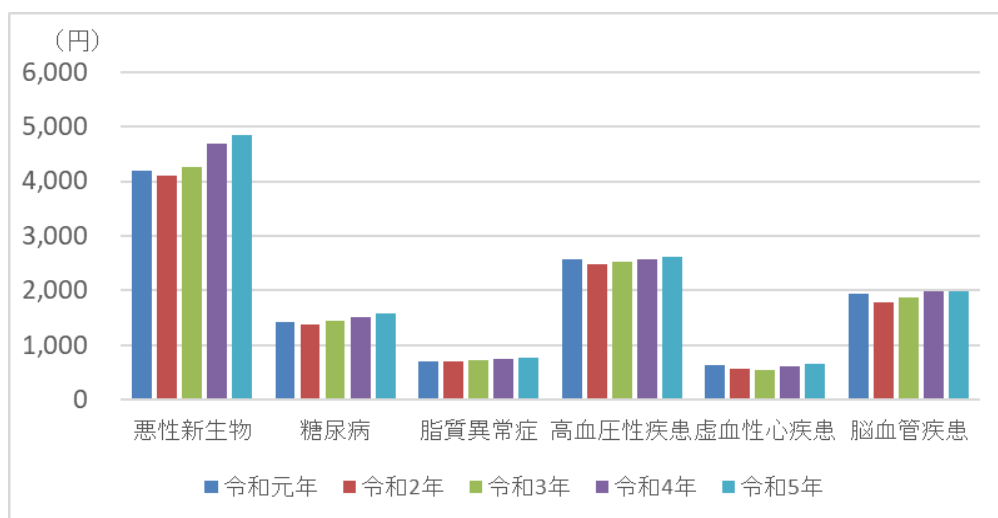
【男女別年齢階層別1人当たり費用額】



【年齢階層別生活習慣病1人当たり費用額(男女計)】



【生活習慣病1人当たり費用額の経年変化(男女計)】



費用額に占める生活習慣病の割合は、男女計で約31%を占めています。内訳は、「悪性新生物」が最も高く、次いで「高血圧性疾患」です。

1人当たり費用額を男女別に比較すると、「脂質異常症」及び「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾病については男性が高い状況です。

年齢階層別にみると、「悪性新生物」以外の疾病は加齢とともに増加の傾向がみられますが、「悪性新生物」は75歳~79歳までは増加し、以降減少に転じています。

経年でみると、新型コロナウイルスの影響から令和2年度はいったん減少しましたが、その後は全ての疾病が増加傾向にあります。

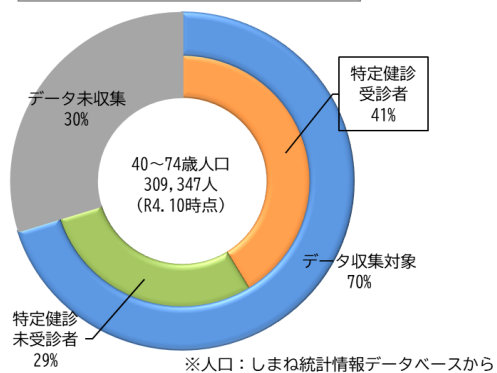
「高血圧性疾患」は、前述のとおり中分類別1人当たり費用額が最も高く、脳血管疾患や腎不全も高いことから、高血圧性疾患を含めた生活習慣病の罹患予防及び重症化予防対策が必要と考えられます。

県内19市町村国民健康保険、島根県医師国民健康保険組合、全国健康保険協会島根支部、島根県市町村職員共済組合の令和4年度特定健康診査結果データを分析しました。

分析に有効なデータすべてを対象としているため法定報告値とは異なります。

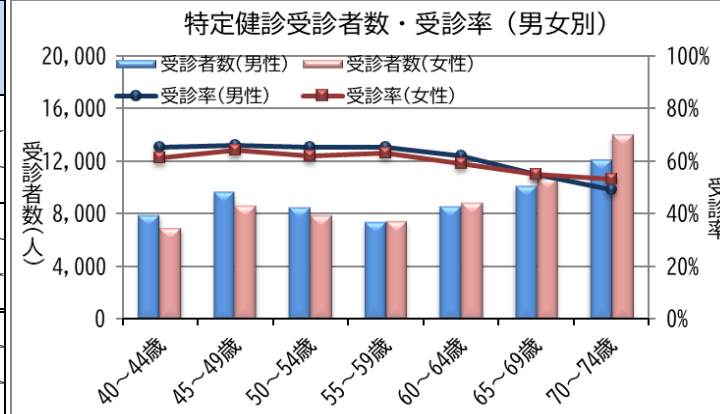
### 1. データの収集状況

令和4年人口に占めるデータ収集状況

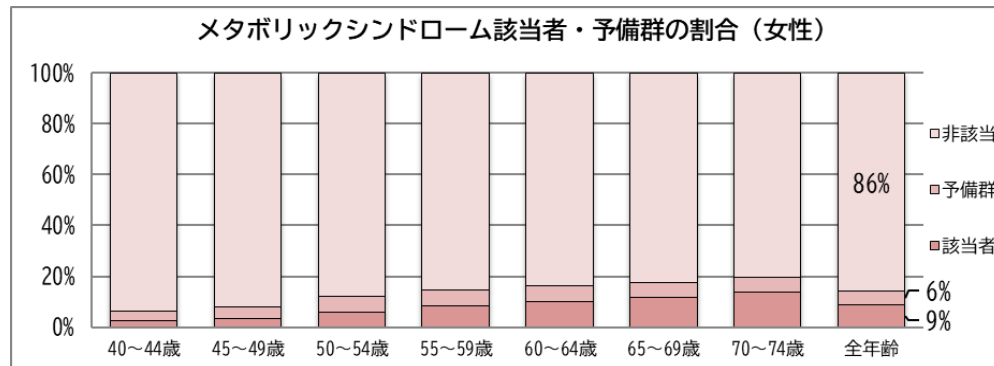
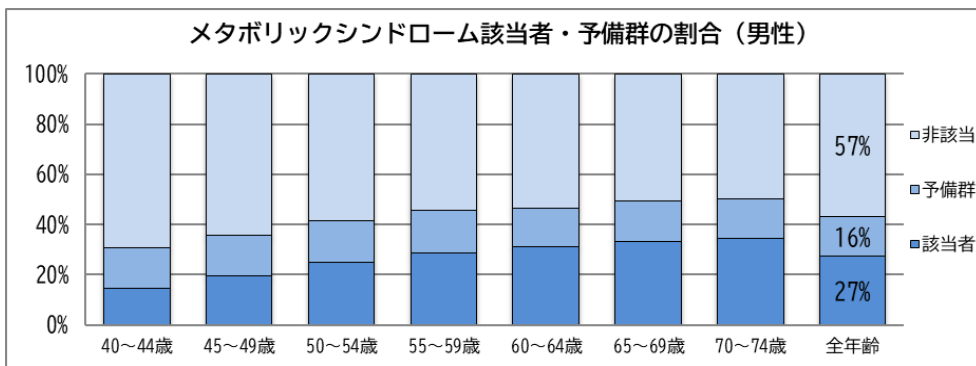


### 2. 特定健診対象者数等

制度	性別	特定健診対象者数(人)	特定健診受診者数(人)	受診率(%)
国保	男性	48,211	18,987	39.4
	女性	51,587	24,069	46.7
	計	99,798	43,056	43.1
被用者保険	男性	59,103	44,833	75.9
	女性	58,274	40,118	68.8
	計	117,377	84,951	72.4
合計	男性	107,314	63,820	59.5
	女性	109,861	64,187	58.4
	計	217,175	128,007	58.9



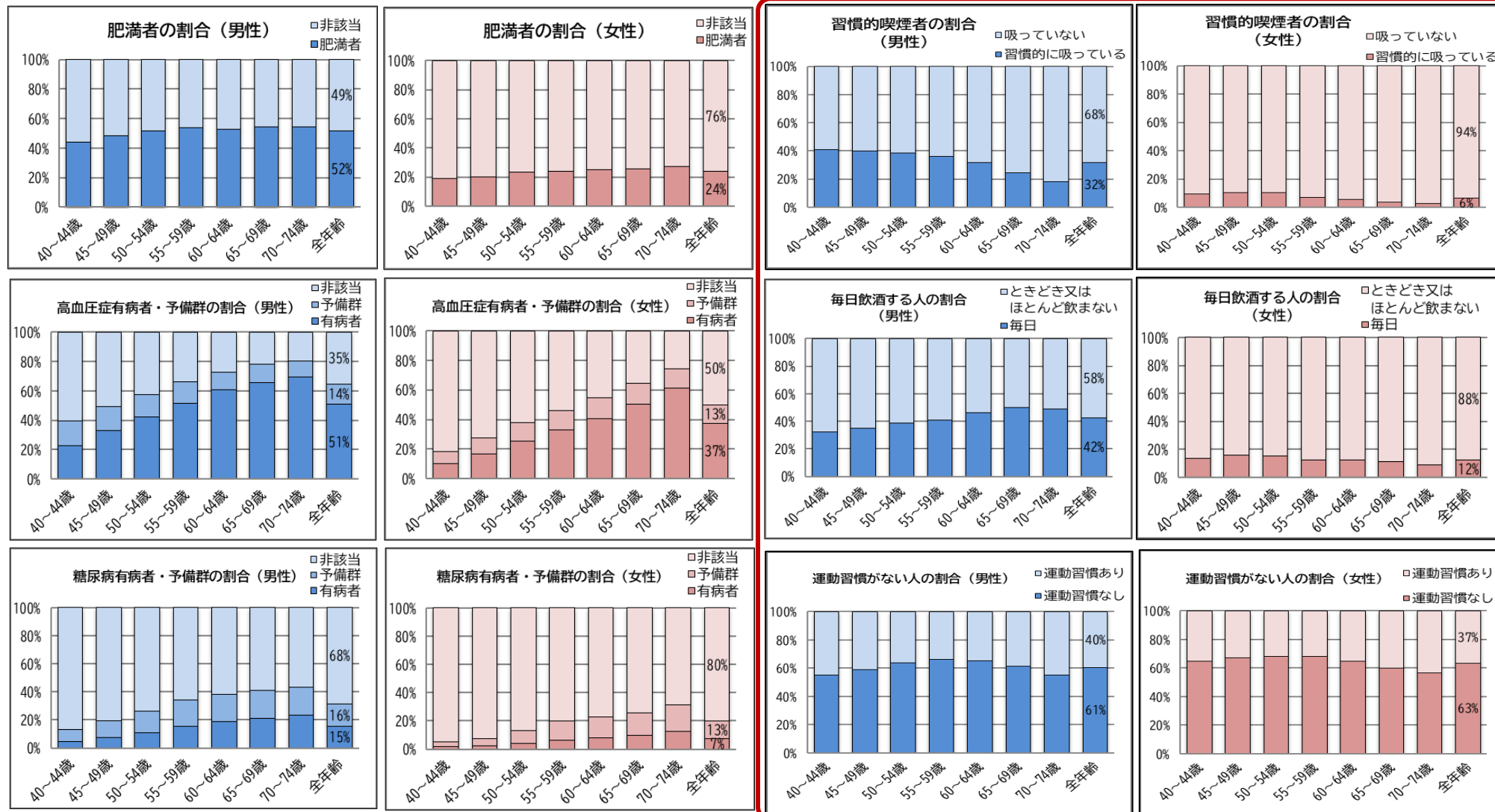
### 3. メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況



本統計で取り扱う健診結果データは、令和4年10月時点における島根県の40～74歳人口約31万人のうちの約4割に相当します。本統計における受診率は、県全体 58.9% (国保 43.1%、被用者保険 72.4%) です。受診者数及び受診率を性年齢階層別にみると、男女とも受診者数は70～74歳が最も多くなっていますが、受診率は年齢が高くなるに連れ低くなっています。メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、全ての年齢層で男性が女性を大幅に上回っています。

## 5. 検査等結果の状況

※赤枠は生活習慣に係る項目（質問票から）



健診結果を男女別にみると、男性の肥満者の該当割合が高く、約半数が肥満に該当しています。  
 なお、高血圧及び糖尿病についても有病者・予備群該当の割合は、ほとんどの年齢で男性が高い状況です。  
 また、生活習慣の面においても、男性は毎日飲酒する、喫煙習慣がある、運動習慣がない人の割合が高い状況にあります。

生活習慣病のリスクは加齢に伴い増加していくため、運動や飲酒等、生活習慣の見直しによるリスク軽減に向けた取り組みが求められます。